

# 財団法人福田会資料について

—— 福田小学校閉校後の発展的慈善教育事業 ——

戸 田 金 一

## On a Related Work After the Close Down of HUKUDEN Primary School

—— An Examination of the Relevant Documents of Foundation HUKUDENKAI ——

Kinichi TODA

### Abstract

This note opens the relevant documents of foundation HUKUDENKAI. And I examine these worthes of historical document, especially on a related work after the close down of HUKUDEN primary school 1927.

**Keywords:** Charity school (in JAPAN), Social welfare

### はじめに

本稿は、1927年に設立された財団法人福田会に関わる記録等の諸資料を明示し、その史料的価値を考察することを主目的とする。

そしてこの目的は、慈善学校福田小学校の研究を進めている筆者にとっては、それを完結させる上の一つの目標達成への歩みである。その理由は次ぎの通りである。

福田小学校と福田会との関係は、すでに述べている<sup>(1)</sup>し、また改めて後記するのであるが、この骨子は前者の閉校後直ちに後者が資産を引き継いで発足し、共通する慈善の理念の上に立っている。しかしながら事業形態に目を向ければ、福田会の活動（歴史）は『寄付行為』の表現に見る通り「家政上小学校教育ヲ受クルコト差支」ある児童への「学資給与」を行うことによって、かれらに「専心勉学致サセル」活動である。こ

れに対して、福田小学校の営みは校則である『秋田市私立学校規則』に表現されたように「成規ノ普通教育ヲ受クルコト能ハサル児童ヲ慈善的教育スルヲ目的」とする未就学児へ学校教育の機会を提供する事業であり、両者には明らかな相違点がある。

したがって両者の研究を切り離して、社会福祉と学校教育との別々の問題関心において取り扱うことは可能であるし、そのための資料もそれぞれ十分にある。だが筆者にとっては、本稿の副題として示したような福田小学校閉校後の発展的な慈善事業という、これまでの研究からの一連のものとして扱うことが自然である。この扱いを採ることによって、関係資料の史料的価値の評価や考察に、関心に基づく判断上の影響が生じることは当然である。

なお福田会の活動内容については、これまでのところ佐々木光郎が関心を持っている<sup>(2)</sup>程度で、ほとんど研究考察対象としては未開拓である。秋田県社会福祉協議会編・発行『秋田県社会福祉史』<sup>(3)</sup>にすら、その名が示されている

平成11年10月15日受理  
総合教育センター・教授